

# KOCHI ROTARY CLUB

2019  
2020



ロータリーは  
世界をつなぐ  
2019-20年度 RIテーマ

## 週報

SINCE 1937



Weekly report 第3415回

2019年11月12日 2019年11月26日発行

### ● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。日曜日の天皇陛下の即位パレード、前夜の祝賀祭典、私は感動しながら見ていました。雅子皇后の時々涙を拭かれる姿も印象的でした。嵐の歌、辻井さんのピアノ等、見ながら私が考えていたことは、多少青臭いのですが、私たち日本人はどういう民族で、日本はどういう国家であるだろうかということです。



私は1972年から81年の終わりまで、約10年間インドネシアで勤務していました。外国にいと日本が懐かしく、いろいろと考えます。1974年1月15日、ジャカルタで反日暴動が起きました。そのころの日本は東南アジアに進出をして、バンコクなどあちこちで摩擦を起こしていました。当時の田中首相が東南アジアを訪問していましたが、ジャカルタに入った一行は、飛行機からは出たのですがジャカルタ市内には入れず、そのまま日本に帰りました。この暴動の4日間、私は家族4人と出張者3名の7名で息を潜めて過ごしました。ただ、実際は反日暴動ではなくて中国人暴動で、死者は全て中国人。日本人で被害を受けた人は1人もいませんでした。

暴動が終わった直後だったと思いますが、日本の海上自衛隊の船が入ってきて、なぜか私たちも見学に行きました。

船に翩翩と翻っていた日本の国旗と旭日旗を見たとき涙が出たことを覚えています。そのときも、我々日本人はどういう民族かということを考えました。

ほかにも、私が外地で日本人とは何かを考えたことがいくつかありました。シンガポールに日本人墓地に行ったときです。今でこそきれいになっていると思いますが、約1,000人近い人たちのお墓の大半がからゆきさん、いわゆる売春婦として一生を送った人たちです。この間、小学校の平和教育で「からゆきさん」という言葉を使ったのですが、先生も子どもたちも誰も知りませんでした。

もう一つ、B級、C級戦犯で絞首刑になった人たちのお墓です。当時のイギリス政府は戦犯達を個々の墓に埋めるのを反対して、絞首刑になった180~200名近い人たちは一つの墓に埋められ、たった1本の柱が立っているだけでした。インドネシアにも日本人の墓があります。オランダからインドネシアが独立したとき、日本から脱走した兵士1,000人ほどが独立軍に参加します。その内、700人以上が戦争中に倒れています。

これらの墓を見たとき、やはり私たちは何者なのかと考えたことでした。

令和という時代が平和で、我々が過去に味わった辛い、嫌な、厳しいことがないことを心から願っています。



### ■ 本日のプログラム [11月26日]

ゲストスピーチ

「大志を抱け！」

米山記念奨学生 ライ イーチュン 氏

(高知大学4年生・台湾出身)

会 長	安 光 保 二
副 会 長	中 村 裕 司
幹 事	中 澤 陽 一
副 幹 事	関 雅 文
会報責任者	川 崎 敦 子

● **ロータリーソング** 「それこそロータリー」

● **今週のピアノ曲** 「ボロネーゼ」 シュモール作曲  
ピアノ演奏：宮地公美子会員



## ◆ 委嘱状の伝達

高野一郎会員 (2020-21年度 国際奉仕委員会国際奉仕ファンド小委員会委員)

## ● 会員スピーチ

### 日本銀行と『お金』

日本銀行高知支店長 奥野 聡雄 会員

日本銀行はいろんな仕事を行っていますが、全ての仕事は国民が安心してお金を使えるようにするという目的につながっています。発券銀行としての仕事に加えて、政府の銀行として税金の徴収、国庫金の支払い。銀行の銀行という部分では、全国の金融機関は全て日本銀行に当座預金口座を持っていて、1日当たり150兆円ぐらいの決済は、この当座預金の口座振替で行われています。



日本のお金はお札（日本銀行券）と硬貨の2種類。二つは同じように買い物に使えますが、制度的には全く別の物です。お札は国立印刷局で印刷・製造されて、出来上がったお札は日本銀行が原価+アルファ（100円～200円）で買い取り、日本銀行の金庫へ（この時点ではまだ紙切れ程度の価値）。その後、民間の金融機関が預金を引き出して、お札を受け取った時点で初めて額面分の価値を持ちます。硬貨は造幣局で製造されて政府が発行する扱いです。強制通用力としてお札は無制限ですが、硬貨は同一硬貨で20枚までしか使えないと法律で決まっています。

お金の役割は大きく分けて、価値の尺度、交換決済の手段、価値貯蔵手段の三つがあります。この内、一番重要なのは交換決済の手段です。昔は、貝殻とか米、家畜などがお金として使われていましたが、これらは価値が不安定だったり、思わず食べてしまったり、お金としては広く人々に受け入れられませんでした。お金がお金として受け入れられるためには、きちんとした信用の裏付けが必要で、価値が安定して初めて人々が安心して使うことができます。銀行券の価値は、中央銀行に保管されている金の価値によって裏付けされており、いつでも金に交換してもらえるということで、かつては、日本を含め多くの国がこの制度を採用していました。

ただ、現在は、どの国も金との交換を保証しない不換紙幣が発行されています。これによって、中央銀行が金を保管する必要がなくなって、紙幣に対する信用をどのように

維持していくのが問題になります。これを解決するために、日本銀行は国が発行する国債を保有することで銀行券に対する信用を維持しています。日本の国債は、日本経済が先々成長して、将来にわたってちゃんと税金が納められ、国債がきちんと償還されるという信頼によって、資産の価値が裏付けられています。

現実の世界では、現金以外でも銀行預金もお金として日常的に利用されています。銀行振り込み、クレジット決済といったものは、全て銀行預金のやり取りで代金を支払うというものです。銀行預金に対する信用は、預金者が請求すれば、いつでも同じ価値の現金に交換してくれる。あるいは、そうした業務を行う銀行の経営が健全である。銀行システムが安定していることで支えられています。

現在、日本の消費支出に占める銀行決済とキャッシュレス決済の比率は半々ぐらいです。キャッシュレスの中ではクレジットカードが半分以上を占めており、プリペイド式電子マネーなど今どきのキャッシュレス決済はまだまだ少数派です。今後は新しいタイプのキャッシュレス決済も、加盟店やユーザーの数が加速度的に増加すると言われており、日本もだんだんとキャッシュレス決済が進んでいくと思われま。決済サービス自体はビジネスとしてはほとんど儲からないにも関わらず、様々な分野の企業が参入しているのは、決済サービスを通じて顧客の買い物や支払いのデータを大量に手に入れて、次のビジネスの種として使うことができる。消費者側からは、自分のデータを企業に提供する代わりに、安い値段でサービスを楽しむことができるというわけです。

様々なキャッシュレス決済が生まれていますが、現在ではまだ、いずれも銀行預金を経由して決済が行われていて、従来の銀行預金の枠からはみ出しているわけではありません。敢えて言うなら、お金の払い方が便利になったということです。

ところが、従来のお金の枠組みからはみ出そうとしているのが仮想通貨、暗号資産と呼ばれるものです。仮想通貨の特徴は、既存の通貨単位、円とかドルを用いない。発行や流通に責任を負う主体がない。銀行預金を通じた決済を必ずしも前提としない。データそのものがお金として用いられ、例えば、ビットコインはコンピューターによる膨大



な計算によって、データの偽装、流出を防ぐ仕組みをつくっていますが、ご存知のように2年程前にビットコインの流出事故が起きて以来、信用が大きく低下して、結果として決済手段としての役割を果たせていません。今のところ、銀行券や既存の銀行預金に対する信用には叶わないということです。

6月にフェイスブックが発表したリブラという次世代型の仮想通貨構想は、ビットコインの弱点を補い、複数国の法定通貨(円とかドル等)をリブラの裏付け資産としてプールすることで、価値の安定を図ろうとするものです。

仮想通貨に触発されてということではありませんが、最近中央銀行が自らデジタル社会に、安全確実な決済手段を広く提供すべきではないかという議論が少しずつ増えています。具体的な発行形態としては、口座型デジタル通貨として、日銀の当座預金を全ての国民に開放して、個人や

企業が日銀に開いた口座間の振り替えで決済を行うものです。もう一つが、利用者のスマホやICカードの中に中銀が発行するデジタル通貨を格納し、利用者間で移転することで決済を行う。つまり、銀行券をデータ化するというアイデアです。しかしこれらもセキュリティ、法律、銀行ビジネスの関係等々、たくさんの課題があり、今のところ、研究を進めるが近い将来こうした通貨を発行する計画はないということです。

いずれにしても、仮想通貨はキャッシュレス決済に似ていますが、お金という視点から見れば、これまでの制度や考え方を逸脱する新しい仕組みであることは確かです。現時点で世の中を実際に変えるまでには至っていませんが、過去100年から200年、銀行券の発行を独占してきた中央銀行的には、正直気になる存在ではあります。

### ● 幹事報告

- ・次週はロータリー休日です。
- ・地区大会参加の皆さんは、よろしくお祈りします。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知ロイヤルRC	12月 3日	ロータリー休日(旭)	高知北RC	12月 9日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	12月17日	クリスマス夜間例会(旭)	高知東RC	12月18日	忘年夜間例会(阪)
高知南RC	12月19日	年内最終夜間例会(阪)	高知中央RC	12月19日	クリスマス夜間例会(城)
高知西RC	12月20日	忘年夜間例会(三)	高知北RC	12月23日	クリスマス夜間例会(三)
高知RC	12月24日	忘年夜間例会(三)	高知ロイヤルRC	12月24日	ロータリー休日(旭)
高知東RC	12月25日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	12月26日	ロータリー休日(阪)
高知中央RC	12月26日	ロータリー休日(城)	高知西RC	12月27日	ロータリー休日(三)
高知北RC	12月30日	年末休み(三)	高知RC	12月31日	年末休み(三)
高知ロイヤルRC	12月31日	年末休み(旭)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園(城)…城西館(阪)…ザクラウンパレス新阪急高知(旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

- 武樋 泰臣 先日の33会で自己ベスト2番目の97で優勝させていただきました。前回優勝のときも今回も森本征彦会員とご一緒させていただきました。足を向けて寝ることができません。ありがとうございます。
- 井上 良介 高知でのカシオワールドオープンが15回目を迎えます。無事終わりますようにニコニコします。
- 宮地 貴嗣 高知ユナイテッドSC、お陰様で地域チャンピオンリーグに1位ラウンド突破!11月20日~24日、福島県のJヴィレッジで行われる決勝ラウンドに挑戦します。しかし、資金不足で困っています。皆さまからの応援募金を募っておりますので、何とぞ宮地までよろしくお願いいたします。
- 高橋 明子 お誕生日のお祝いをありがとうございました。会長の心のこもったメッセージ、感謝申し上げます。
- 右城 猛 今日は朝から嬉しいニュースが二つ飛び込んできました。弊社社員の中村技師長が大臣表彰を受賞したというニュースと、楠本技術部長の「岩間大橋の損傷の調査と原因推定」に関する論文が国際ジャーナル「診断工学」に掲載が決定されたというニュースです。岩間大橋は、昨年2月に「劣化する高知の橋梁」として、私が卓話で紹介させて頂いた沈下橋です。ニコニコさせていただきます。

◎ 地区大会 2019-2020 11月22日~24日 徳島



◎ 33会 例会を開催いたしました



優勝は武樋会員でした

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
11月12日	(-8)91	57	21	5	74%
10月29日	(-6)91	57	4	24	95%
サインメイキャップを除くメイキャップ				1	68%

● 累計額 [11月12日現在]

ニコニコ箱	372,500円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦々基金	110,916円	ポリオ募金	179,200円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [12月 3日]

定時総会

創 立 昭和12年10月  
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
 TEL(824)8660 FAX(824)2529  
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
 HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/